

環境価値の評価（設問調査）

*資料の出所：栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ』有斐閣，2008年。

1. 支払い意思額 アンケート調査

環境保全：自由回答1

- 琵琶湖の保全を行うと、在来種の魚の生息数が現在の200匹から400匹まで増えるとします。あなたはこの保全計画を実施するためにいくらまで支払っても構いませんか。

_____ 円

環境破壊：自由回答2

- 琵琶湖の周辺で開発を行うと、在来種の魚の生息数が現在の200匹から100匹まで減るとします。
あなたはこの開発計画を中止し、現在の生息数を維持するためにいくらまで支払っても構いませんか。

_____ 円

環境保全：支払カード形式1

- 琵琶湖の保全を行うと、在来種の魚の生息数が現在の200匹から400匹まで増えるとします。あなたはこの保全計画を実施するためにいくらまで支払っても構いませんか。以下から選んでください。
 1. 300円
 2. 500円
 3. 1000円
 4. 2000円
 5. 4000円
 6. 8000円
 7. 1万～5万円未満
 8. 5万円以上

環境破壊：支払カード形式2

- 琵琶湖の周辺で開発を行うと、在来種の魚の生息数が現在の200匹から100匹まで減るとします。あなたはこの開発計画を中止し、現在の生息数を維持するためにいくらまで支払っても構いませんか。以下から選んでください。

1. 300円 2. 500円 3. 1000円

4. 2000円 5. 4000円 6. 8000円

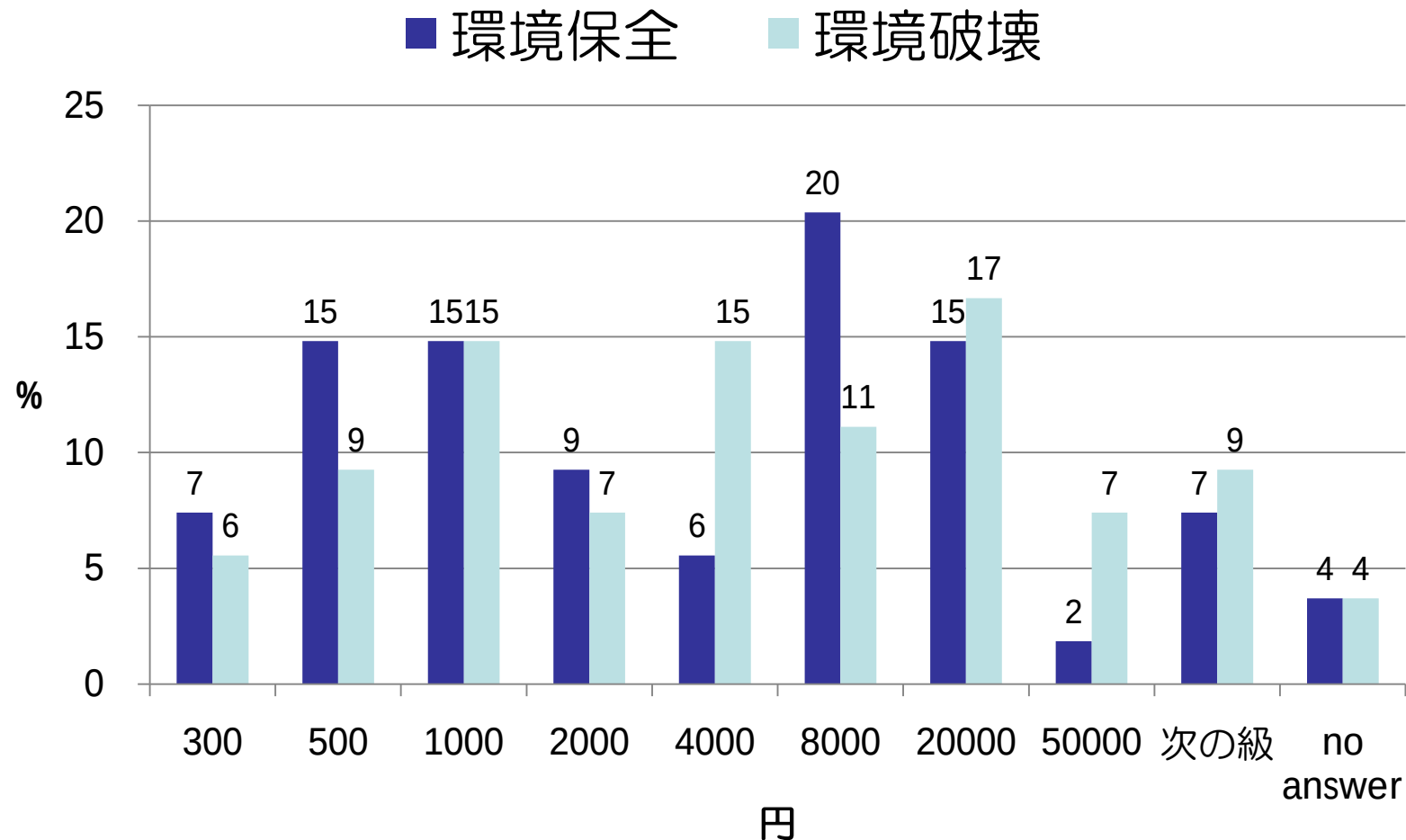
7. 1万～5万円未満 8. 5万円以上

2. 支払い意思額：結果

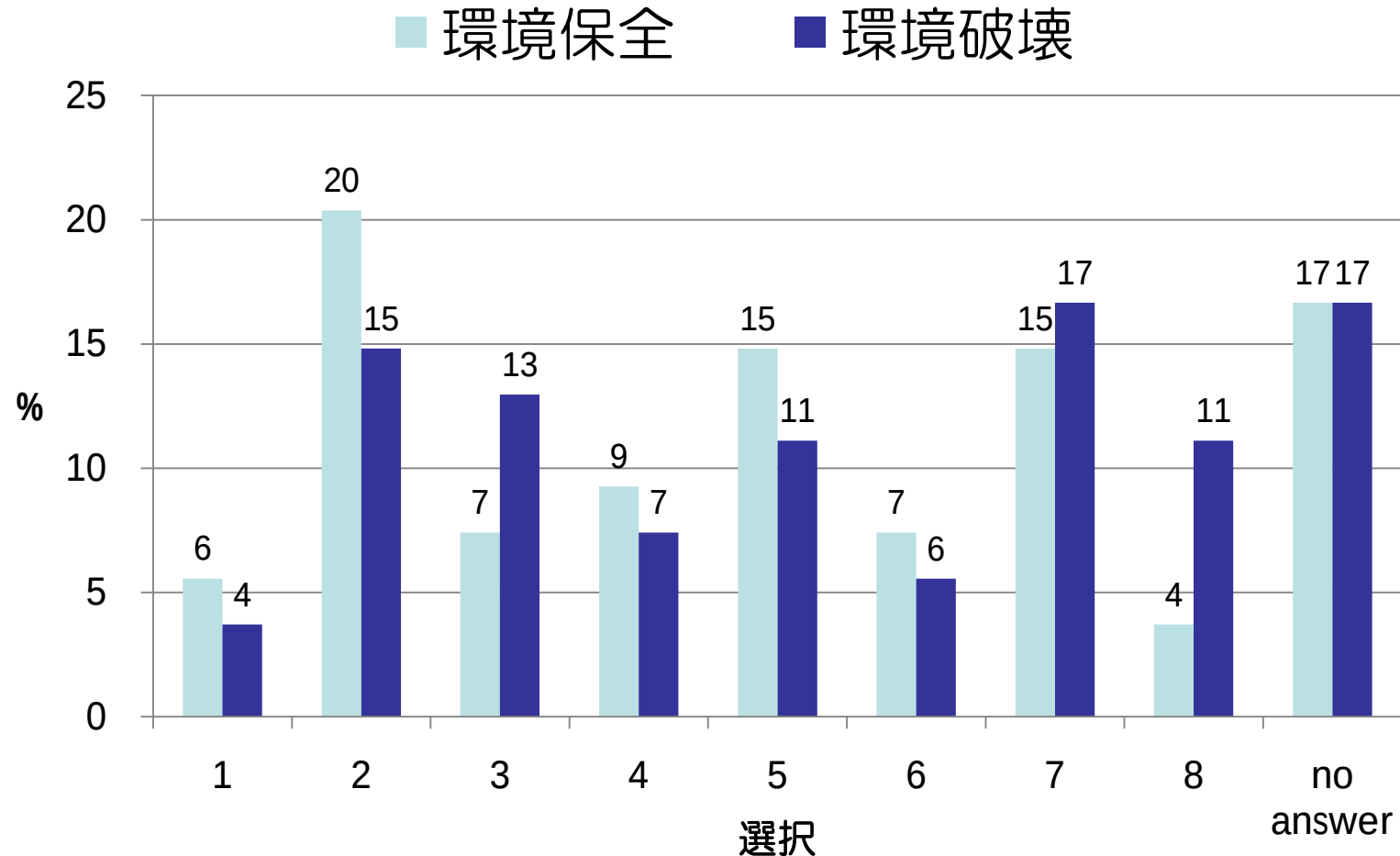
自由回答の結果

	環境保全：WTP	環境破壊：WTP
平均	86161.54	113342.3
標準誤差	60353.15	78906.12
中央値（メジアン）	3000	3500
最頻値（モード）	5000	10000
標準偏差	435212.7	569000.1
最小	100	100
最大	3000000	4000000
合計	4480400	5893800
標本数	52	52
信頼区間(95.0%)	121164	158410.7

支払意思額（自由回答）



支払意思額（支払いカード形式）



支払意思額が1万円以上の人：理由

- 琵琶湖保全によって水もきれいになるから
- 琵琶湖近くに住んでおり、在来種の魚がいなくなると深刻な問題になるので、保全をしてほしい
- バス釣りをするので、生息数が減ると相対的にブラックバスの数も減るので、投資という意味で。
- 琵琶湖の保全より、まず周辺での開発を中止してほしい。
 - 現状は絶滅しないということなので、開発中止の方が緊急性が高いと思う。
 - 保全をしたとして、周辺で開発すると保全活動の効果がなくなるから

支払意思額が1000円以下の人：理由

- 500円でも多くの人がこの問題に関心をもち、みんなが協力しあえば、一人一人が多く払わなくても多くの資金が集まると思うから
- 自分の財布の中身を考えてあまり出したくない
- 生活費と照らし合わせて、昼食一回分を選んだ
- 募金・寄付のような感じ。
 - 誰が使うかわからないものは10円以下の小銭、興味が引かれるようなものは100円と決めているから
 - 一人暮らしで、500円より高く出すことはできない

支払意思額が1000円以下の人：理由つづき

- 自分から遠いところはあまり実感がわからないから
- いくら払えば、結果が出るのかがわからない為、払う意思が低下する
- どちらも計画の規模がわからない為、どの程度の寄付が適度なかわからない。琵琶湖の水がキレイになっても自分へのリターンが期待できないのでボランティアみたいな感じになるから
- 在来種が増えるのはその周辺環境にとって良いことだが、自分への直接の恩恵は少ないと思うから価値は低い
- そこまで琵琶湖の保全や開発に興味を持たない

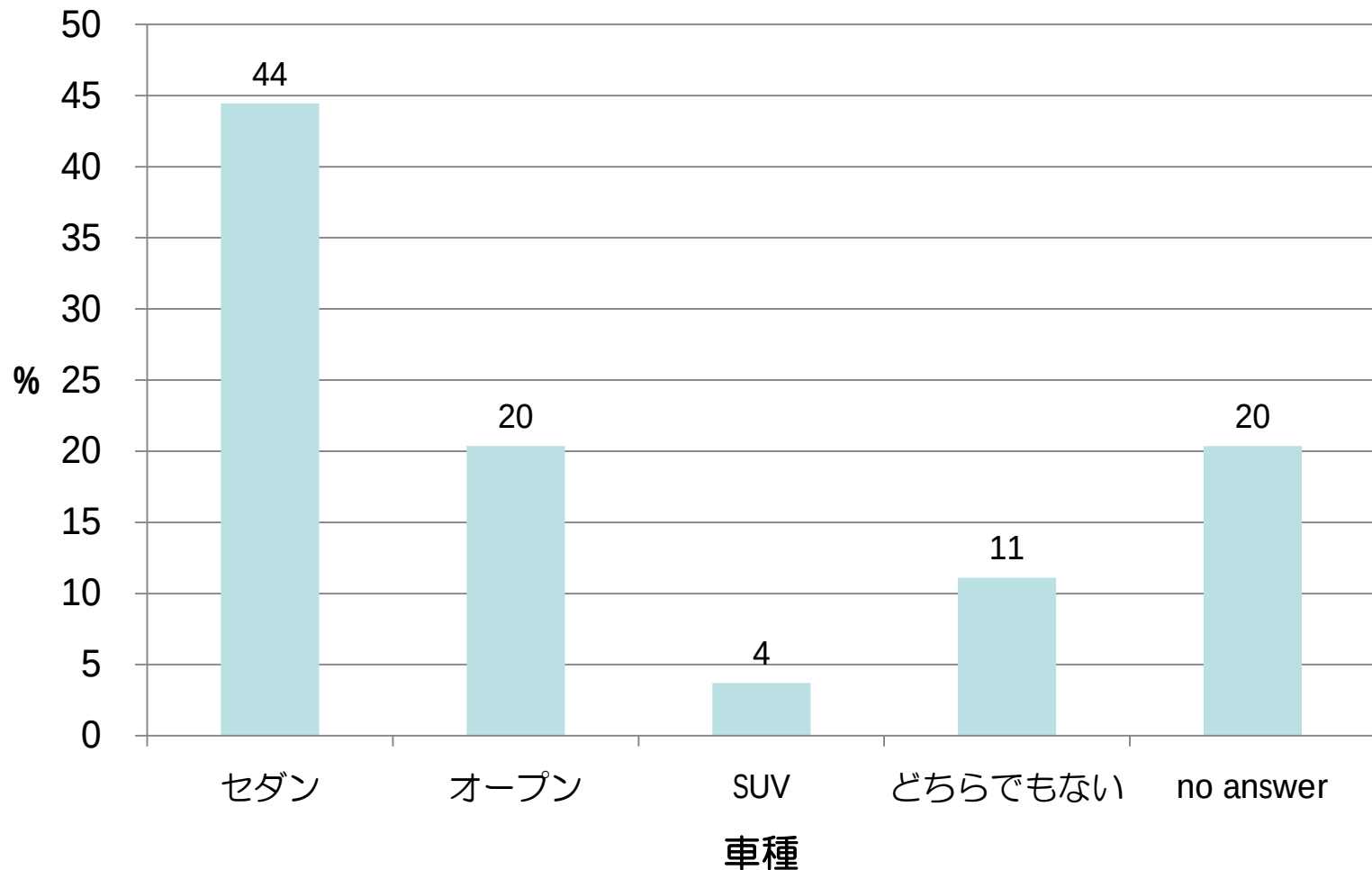
3.コンジョイント分析

コンジョイント分析（車種選択）

Q1. 以下の1～4の中から最も望ましいものを選んでください

	1	2	3	4
車種	セダン	オープン	Sports Utility Vehicle	どれも選 ばない
燃費	30km/L	20km/L	15km/L	
排気量	1500cc	1800cc	2000cc	
リサイクル率	70%	90%	80%	
価格	250万円	180万円	300万円	

コンジョイント分析（車種選択）結果



理由1

- セダン

- 価格はオープンより高いけど、排気量も少なく、燃費もいいので、長期的に見れば得だと思う

- オープン

- リサイクル率が最も高いから。オープンカーはセダンに比べて燃費が悪く、排気量も多いので大気には優しくないが、その分リサイクル率の高さで、資源を大切にしていきたいから
- 価格や燃費などを見ても、一番バランスがとれていて、お得だと思うから
- 価格がお手頃だから

理由2

- SUV

- 環境にはあまり良くないが大きくて一度に多くの人、モノを運べるし、何よりもカッコイイから

- どれも選ばない

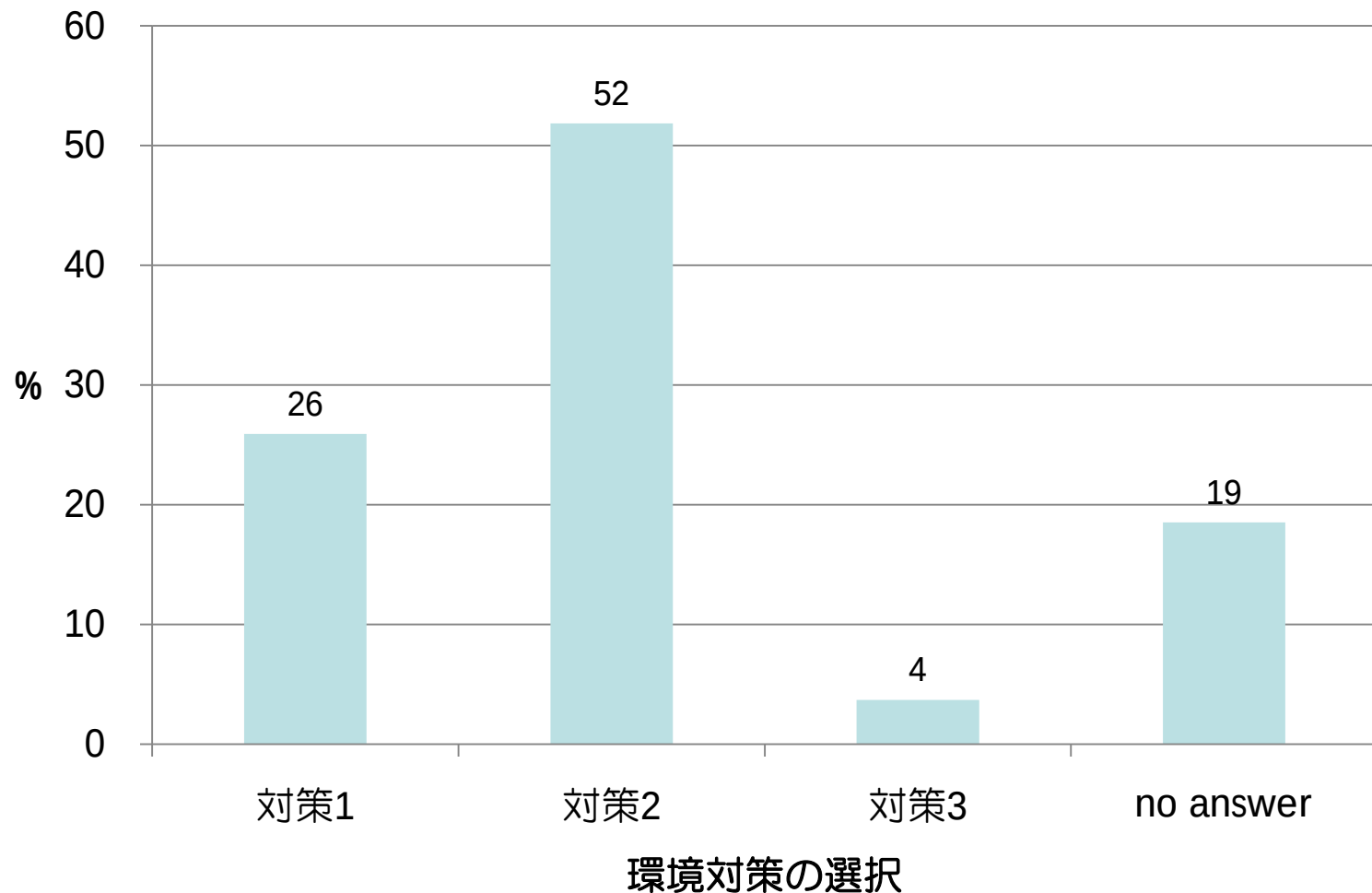
- 車を買うといくら排気量が少ないとしても大気環境を破壊し、渋滞・交通事故も起こす可能性があるから
- 自動車はいらないと以前から思っていたから。電車、バス、自転車があればなんとかなると思う。環境に優しくて良いと思う。どうしても必要なときはレンタカーやカーシェアリングを使いたい
- 車はお金もかかるし、環境にも悪いので、電車や自転車を使う

コンジョイント分析（環境対策）

Q2. 以下の1～4の中から最も望ましいものを選んでください

	対策1	対策2	対策3	対策4（現状）
水源保全	10ha	30ha	20ha	10ha
キャンプ場の整備	あり	なし	あり	なし
生態系の保全	10ha	5ha	0ha	0ha
税金の上昇	5000円	2000円	1000円	0円

コンジョイント分析（環境対策）結果



理由1

● 対策1

- 生態系の保全に力を入れているから。税金が他の政策に比べてかなり高いが、キャンプ場が整備されるうえに生態系の保全もしっかりしているので、本当に環境に優しい対策だと思う
- 水源保全もできるし、生態系も一番よく保全できる。税金が一番高いが、その価値が十分あると思う
- 税金も上がるがキャンプ場があることによって潤うメリットもあるし、何らかの収入がある方が対策を続けやすいと思うから

理由2

● 対策2

- 水源保全を大きく評価した。水は直接自分の体にもかかわってくることなので、大切だと思う。税金も妥当だと思った。
- キャンプ場などが整備されていなくても、水質と生態系が保全されていれば、環境は守られると思うから
- 水源保全、生態系の保全ともにやった方がいいと思うし、キャンプ場を使えば楽しめるかもしれないが、ゴミが出たりする。税金もそれほど高くないので。
- 本来なら1を選びたいけど、リアルな話、税金の上昇は避けたい。生態系の保全も疎かにできないので。
- 人が来ると環境が破壊するので、キャンプ場の整備がないから。

理由2

- 対策3

- 税金は比較的に安く水質保全も大きく、キャンプ場を整備することで収入が見込めるので、保全活動へお金を回す事ができるので
- 税金が今までより2000円上昇したら払えないので、最高でも1000円までだと思うから。